

■緑の党とは

1、歴史

・1970年代にオーストラリアやニュージーランドで誕生。その後ヨーロッパ各地で結成され、80年代から90年代にかけて世界中に広がった。

・ドイツやフランスでは連立政権に入り、原発の縮小などを実現

・2001年、オーストラリアのキャンベラで世界70カ国の緑の党・組織の代表が参加した「グローバルグリーンズ世界大会」が開催された。

※「モットイナイ」ノーベル平和賞受賞者のマータイさん（ケニア緑の党）もスピーチした。

※現在は90カ国を超える国が参加。日本での加盟は「みどりの未来」のみ。

2、理念

2001年GG大会で6つの柱を掲げたグローバルグリーンズ憲章（Global Greens Charter）が制定された。

- ①エコロジカルな知恵 ecological wisdom
- ②社会正義 social justice
- ③参加型民主主義 participatory democracy
- ④非暴力 non-violence
- ⑤持続可能性 sustainability
- ⑥多様性の尊重 respect for diversity

グローバル資本主義による環境破壊や差別・格差拡大に対抗。

「より少なく働き、より少なく消費し、よりよく生きる」

「スロー・スモール・シンプル」

■みどりの未来とは

1、歴史

・2004年参議院選挙に挑戦 中村敦夫氏「みどりの会議」→解散

・メンバーの多くが活動を継続「みどりのテーブル」

・2007年参議院選挙 川田龍平氏を応援→当選後 脱退

・2008年「みどりの未来」結成（自治体議員ネットワーク「虹と緑の500人リスト運動」と合流）

・2011年3.11以降会員が1.5倍に。現在約620名（うち自治体議員や首長60名）

2、理念ビジョン

- ①脱原発、自然と共生して生きる
- ②脱成長で豊かに暮らす
- ③社会的公正を実現する
- ④差別のない多様な生き方の承認
- ⑤参加と熟議の民主主義の実現
- ⑥平和と非暴力の世界へ

3、2030 みどりのアジェンダ

- ①脱原発と CO2 削減の両立
- ②食料自給率を 80%へ
- ③ベーシックインカム
- ④金融・資産課税の強化
- ⑤スローライフへ時短
- ⑥シングル&多様な家族
- ⑦比例代表制と供託金ゼロ
- ⑧国際連帯税・通貨取引税

3 組織の特徴

中央集権→分権的

ナショナル→世界的 (90 カ国)

議員の特権→対等

男中心→クォーター制

閉鎖的→公開・解放的

■ 今後は・・・

2012年7月に「緑の党」結成

2013年7月参議院選挙に挑戦

■ ドイツ報告

- ・エネルギーの効率化
- ・地域経済が回る仕組みのシステム化
- ・廃棄物問題
- ・市民の参画
- ・緑の党の存在